

## ● 新規購入図書紹介

図 書 名	著 者	出 版
<b>地 方 自 治</b>		
Q&A 今さら聞けない自治体議会の基礎知識	林 敏之・大島 俊也	第一法規
<b>観 光 事 業</b>		
世界一訪れたい日本のつくりかた	デービット・アトキンソン	東洋経済新報社
観光先進国をめざして 日本のツーリズム産業の果たすべき役割	田川 博己	中央経済社
<b>社 会 福 祉</b>		
生活保護と貧困対策 その可能性と未来を拓く	岩永 理恵・卯月 由佳・ 木下 武徳	有斐閣
<b>ス ポ ー ツ ・ 体 育</b>		
参加しよう！東京パラリンピックとバリアフリー	山岸 朋央・DPI日本会議	汐文社
<b>そ の 他</b>		
MaaSモビリティ革命の先にある全産業のゲームチェンジ	日高 洋祐・牧村 和彦・ 井上 岳一・井上 佳三	日経BP社
実践地域・まちづくりワーク 成功に導く進め方と技法	谷口 守	森北出版
社会は変えられる 世界が憧れる日本へ	江崎 禎英	国書刊行会
キャッシュレス決済革命	日本経済新聞出版社(編)	日本経済新聞出版社
安易な民営化のつけはどこに	岸本 聡子・三雲 崇正・ 辻谷 貴文・橋本 淳司	イマジン出版
農村の歩みに命と共同を学ぶ 土地改良にかかわりながら	川尻 裕一郎	日本経済評論社
良き社会のための経済学	ジャン・ティロール、 村井 章子(訳)	日本経済新聞出版社
これからの子ども・子育て支援を考える 共生社会の創出をめざして	柏女 霊峰	ミネルヴァ書房
新しい時代の生涯学習 第3版	関口 礼子・西岡 正子・ 鈴木 志元・堀 薫夫 ほか	有斐閣

## \*\*\* 花言葉は「節度」と「慎み」 \*\*\*

題名を見て、何の花言葉か、お気づきになった方はいるでしょうか？これは、もうすぐ見頃を迎える「つつじ」の花言葉です。私はつつじと聞くと、小学生の頃、友人と家の前に咲いているつつじの蜜を吸ったことを思い出します。今回は、そんな思い出のあるつつじについて紹介したいと思います。

まず、つつじを漢字で書くと、「躑躅」となります。ちょっと難しいですね。さて、植物なのになぜ二文字ともあしへんなのか…？すぐ不思議でしたが、この字は「てきちよく」とも読み、行っては止まり、行っては止まりして進まないという意味があり、見る人の足を引き止める美しさから、この漢字が使われたと言われていました。

そんなつつじは、和歌山市の緑化審議会が市民から募集し、昭和49年2月5日に「市の花」として制定されたことで、和歌山市民にとって、馴染み深い花となっています。和歌山市でのつつじの名所と言えば、和歌山城のつつじ園と四季の郷公園などがあります。つつじ園には、約8,000本のつつじが植えられており、四季の郷公園には、西側の斜面に500メートルにわたって半円状に植えられています。

もうすぐ10日間の大型連休です。その頃は、ちょうどつつじの見頃でもあると思うので、ぜひ見に行かれてはいかがでしょうか♪



※参考資料：漢字源